

教科	体育	単元名	ハンドボール
----	----	-----	--------

本時のねらい

- ・3対3のミニゲームを通して、ハンドボールの攻め方や守り方のくふうを考えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・動画を撮影し、それを視聴することで、自分の動きや同じチームのメンバー、対戦相手の位置や動きを見ることができる。
- ・撮影された動画を静止させたり、スローにしたりすることで、対戦相手の位置を把握し、自分の動きの検証を行うことができる。
- ・撮影された動画をもとにチームで話し合うことで、ハンドボールの攻め方や守り方のくふうを考えることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンク）
- ・カメラアプリ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動 ・めあてを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて 自分たちの動きをふりかえり、攻め方や守り方を考えよう。</p> </div>	
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎練習（パス練習・シュート練習） ・3対3のミニゲームを行う。【写真1】 <p>・ミニゲームの待ち時間に、撮影した動画を視聴し、自分たちの動きをふりかえり、次のミニゲームに活かす。【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4人ずつのチームを組み、そのうちの1人の役割を自分たちのチームの動き（オフェンス・ディフェンス）の撮影とし、交代で撮影する。 ・撮影場所は指定せず、自分たちの動きや見たいポイントに合わせて、各チームで撮影する場所を決める。 <p>・撮影した動画を静止させることで、自分たちや対戦相手の位置を確認でき、誰にディフェンスがいなかったか等を検証できる。</p> <p>・動画を見返すことで、攻め方のくふうを話し合うことができる。</p> <p>・ディフェンスの動画も撮影しているため、相手の攻め方のくふうを参考にしたり、守り方のくふうも話し合ったりできる。</p>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクのボードに、ハンドボールの攻め方や守り方のくふう（フリーになっている人にボールを出す等）を書き出し、共有する。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・班で話し合ったことや、撮影した動画を参考にして、攻め方や守り方のくふうを書き出す。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】自分や対戦相手のチームの動きを撮影している場面



【写真2】撮影した動画を視聴し、自分たちや対戦相手の動きを確認している場面



【写真3】オクリンクにハンドボールの攻め方や守り方のくふうを書き出す場面

児童生徒の反応や変容

- ・動画で自分の動きや対戦相手の動きを確認することで、児童たちがハンドボールの攻め方や守り方の工夫をじっくりと考えることができた。
- ・動画があることでじっくりと自分や対戦相手の動きを確認することができ、ボール運動が得意だと感じている児童は、より自分の動きを考え、チームのメンバーにもアドバイスをするようになった。
- ・ボール運動が苦手だと感じていた児童も、チームのメンバーに助言を求めたり、チームのメンバーの動きの良さを伝えたりするようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ハンドボールでは、その場の状況を瞬時に掴み、判断することの連続であるため、なかなか自分の行動をふりかえることは難しいが、動画にすることで自分の動きを記録することができるため、なぜ上手くいかなかったかを考えることができた。
- ・3対3のミニゲームでは、アウトナンバーの状況を作ることで、フリーになる動きやフリーになっている人へのパスかどうか分かりやすくなる。また、動画でのふりかえる視点を明確化でき、話し合いを活発にすることができた。